資料５

診断助成制度における診断後の流れ図（案）

診断助成制度の流れ

無料

約460か所

第１段階（認知機能検診）

【対象者】
65歳以上の市民（受診券必要）

【検診内容】
・HDS-R/DASC-21/市独自の問診票（BPSDチェック）
※上記をもとに医師が診察し結果を判断

【結果】
１．認知症の疑いなし
２．認知症の疑いあり
３．新薬適用の可能性あり
（新薬希望あり・自覚症状あり・大きな脳卒中の既往歴無し）

「疑いあり」
または
「新薬適用の
可能性あり」

**保険診療
助成対象**

約60か所

第２段階（認知機能精密検査）

【対象者】
第１段階で結果「認知症の疑いあり」または
「新薬適用の可能性あり」とされた者

【検査内容】
画像検査や心理検査等を保険診療で実施
※「にも第２段階」へ紹介する場合はMMSE必須

【結果】
「認知症／MCI／認知症でない」を病名も含め診断
※ 新薬投与対象者の可能性がある場合、
「にも第２段階」へ紹介

新薬投与
対象者の
可能性あり

９か所

認知症新薬にも対応した
第２段階（精密検査・投与）

【対象者】
第２段階で「新薬投与対象者の可能性あり」
とされた者

【検査内容】
厚生労働省の最適使用推進ガイドラインに
基づき必要な検査を実施（アミロイドPET・CSF等）

【結果】
「認知症／MCI／認知症でない」を病名も含め診断
のうえ、新薬の投与可否を判断

受診後の案内

検診後

【結果にかかわらず】
・運転免許自主返納リーフレットの交付
・**「人生会議（ACP）のすすめ」リーフレットの交付**

第２段階で
検査終了

【結果にかかわらず】
・認知症ケアパスの交付

【結果：認知症】
・あんしんすこやかセンター等の窓口を紹介

【結果：MCI】
・**リーフレット交付し、以下について説明**
○フレイル改善通所サービス
○人生会議（ACP）
○健康づくり（運動・食事・生活習慣病等）

・今後の経過観察について説明

【結果：認知症でない】
・翌年度、第１段階再受診可能であることを
説明

新薬投与対象外

新薬投与対象

・新薬を投与

【６カ月後】
・認知症新薬フォローアップ機関を紹介

※投与開始後の薬代及び治療費は
助成の対象外